

1. 第 35 期（令和 3 年度）事業計画

(1) 本社事業部（富山市民プラザビル）

市民プラザビルの運営にあたっては、賑わいの創出を図り、中心地区活性化に寄与することを大きな目標に掲げ、時代の変化（近隣商業環境、経済状況、消費動向、情報通信技術の進展、ライフスタイルの変化等）に対応した施設運営を図ってまいりました。

しかし、今期は、全世界を激変させた新型コロナウイルス感染拡大（以下、「コロナ禍」）の影響で、当ビルにおいても賑わい創出のための集客が全くできず、一時は休業するテナントが相次ぎ、全店舗が大幅な売上減少という極めて厳しい状況に陥ったことから、賃料減免措置などで民間テナントの支援に努めました。

第 35 期（令和 3 年度）は、全社的な財政状況を注視しつつ、従来どおり施設の維持管理に努めるとともに、疲弊した民間テナントの支援に加え、自主イベントも段階的に実施し、コロナ禍以前のビルの賑わいを少しでも早く取り戻せるよう取り組んでまいります。

(2) 駐車場事業部（グランドパーキング）

グランドパーキングの運営にあたっては、中心商店街の活性化に寄与できるよう「明るい・きれい・とめやすい」施設の運営管理を心がけております。

ここ数年、中心商店街の来街客数が下降傾向にあるうえ、今期はコロナ禍により隣接する大和が一時全館休業した影響などから、大幅な利用台数の減少となりましたが、定期駐車利用客を増やし収入を確保するとともに誘導員減員など経費節減にも努めました。

第 35 期（令和 3 年度）は、さらなる定期駐車利用客増による売上維持と経費節減を図りながら施設の維持にも努めてまいります。

(3) まちづくり事業部（旧・株式会社まちづくりとやま）

まちづくり事業部では、平成31年4月1日の株式会社まちづくりとやまとの合併後、同社がこれまで取り組んできた中心市街地の活性化に関する諸事業（グランドプラザの運営、地場もん屋の運営、コミュニティバスの運行、富山市中心商店街2時間駐車サービス事業など）を承継しております。

今期は、コロナ禍の影響でグランドプラザ使用料収入やコミュニティバス乗車収入などが大幅な減収となった一方、売上増加に注力している地場もん屋については巣ごもり需要や令和2年7月に開業したソウガワベースからの客の流れもあり順調に売上が増加いたしました。また、利用客の減少が続いているコミュニティバス運行について、有識者の意見を参考にルート変更及び料金値上を行う方針を決定いたしました。

第35期（令和3年度）は、引き続き、地場もん屋の売上の大幅増を図るなど自主財源の確保やコミュニティバス事業の収支改善に努めるとともに、来期以降に見直すべき業務を富山市及び中心商店街関係諸団体等と協議を行い、当事業部が不採算事業の対応に追われないよう、また、補助金依存体質から脱却できるよう取り組んでまいります。

こうした現状を踏まえながら、次の事業に取り組んでまいります。

- (1) 富山市中心地区活性化に関する諸事業の実施と選択
- (2) 富山市民プラザビルの賃貸と管理運営
- (3) グランドパーキングの管理運営
- (4) 地場もん屋の売上の大幅増
- (5) 賑わいと話題性溢れるイベントの実施

2. 第 35 期（令和 3 年度）収支計画

（単位：千円）

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
家賃収入	451,200	〔仕入高〕	7,000
共益費収入	138,000	人件費	186,400
駐車場収入	204,700	一般管理費	440,500
事業収入	117,900	イベント事業費	48,600
受託料収入	62,700	租税公課	98,200
補助金収入	89,700	解体撤去費	2,900
雑収入	7,700	小計	776,600
受取利息等	200	減価償却費	269,200
—	—	固定資産除却損	1,100
合計	1,072,100	合計	1,053,900
差引額			18,200